

施工説明書



メーカー管理用です。

パブリック向けシャワートイレ一体型便器 機能部

DV-K213GF 型 DV-K213F 型 DV-K213G 型 DV-K213 型
 DV-K213GM 型 DV-K213M 型 DV-K213GL 型 DV-K213L 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

お客さまへ

本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買い求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで
 ナビダイヤル TEL 0570-017-173
 受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください!

■快適機能の設定はお客さまにおまかせください。シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。特に節電機能は、お客さまが意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは
 お客さまにシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。
 ●便座・温水の温度* ●脱臭機能 ●節電機能
 ●便座ヒーターオート OFF
 *：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
 ※機種によっては、一部機能がない場合があります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店にご依頼ください。

- コンセントは AC100V、定格消費電力 350 W に適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。
- すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- 定格消費電力に適した配線を行ってください。
- 必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。
- アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。
- 必ず漏電遮断器を設置してください。シャワートイレの電源には漏電遮断器が必要です。家屋に漏電遮断器がない場合、必ず最大定格を考慮した最適な漏電遮断器（高速・高感度型【感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以内】）を設置してください。
- ※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障するおそれがあります。

使用する水は?

- 給水は必ず水道水および飲用可能な井戸水に接続してください。中水道や工業用水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 水圧判定には、専用治具 (CWA-234) をお使いください。他の器具を同時使用した場合でも 0.07MPa 以上 0.75MPa 以下の給水圧力が必要です。この最低水圧に満たない場合には、十分な洗浄機能が得られない場合があります。
- 下記の必要水圧対応表を参照ください。

給水圧力	低流動圧対応プースター無		低流動圧対応プースター(*)付	
	静水圧	流動圧	0.07MPa (17L/分) 以上	0.15MPa 以上 0.05MPa (13L/分) 以上
※ 給水圧力が満たない場合は、オプション品：低流動圧対応プースター (品番：CWA-217A) をご使用ください。ただし、車いす対応パブリック向けタンクレストイレと、低流動圧対応プースターの組合せは出来ません。				
※ 低流動圧対応プースターを取り付ける場合、CWA-217A に同梱されている説明書をご確認ください。				
●給水管が呼び径 13 未満の場合、十分な洗浄機能が得られない可能性があります。給水管呼び径 13 以上の配管を使用してください。				

※ 給水圧力が満たない場合は、オプション品：低流動圧対応プースター (品番：CWA-217A) をご使用ください。ただし、車いす対応パブリック向けタンクレストイレと、低流動圧対応プースターの組合せは出来ません。

※ 低流動圧対応プースターを取り付ける場合、CWA-217A に同梱されている説明書をご確認ください。

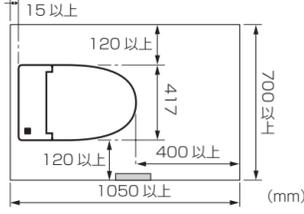
●給水管が呼び径 13 未満の場合、十分な洗浄機能が得られない可能性があります。給水管呼び径 13 以上の配管を使用してください。

準備工具

- モンキーレンチ (26mm 以上調節可のもの) またはスパナ類 (17、23 ~ 26mm)
- プラスドライバー
- マイナスドライバー

必要なスペースは?

必要なトイレスペースは下図のとおりです。
 ※ 製品に向かって右側・左側ともに 120mm 以上の空間を確保してください。120mm 未満ですと動作の妨げになる場合があります。



機能部を設置する前に

機能部は、便器を設置してから施工してください。

機能部を床に置かない

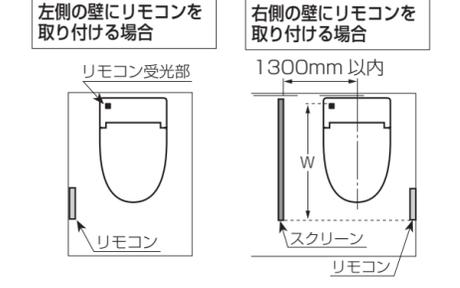
機能部を床に置くことは、絶対にしないでください。
 ※ 取付ボルト・機能部給水口が折れるおそれがあります。

給水配管はしっかりと固定して!

本品は洗浄バルブ方式で、従来のタンク式とは異なり、急激な水圧によりフレキホースに衝撃が加わり振動が発生する可能性があります。給水配管はグラつかないように、しっかりと固定してください。
 ※ 振動、漏水するおそれがあります。

リモコンの取付位置は?

リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁 (左側) に取り付けてください。



必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から 1300mm 以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。
 スクリーンの寸法は高さ 1100mm 以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。(ただし、壁の仕上げ・色 (特に黒っぽい色) などにより受信条件が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。)

安全のために守ってください!

警告 ... 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ... 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

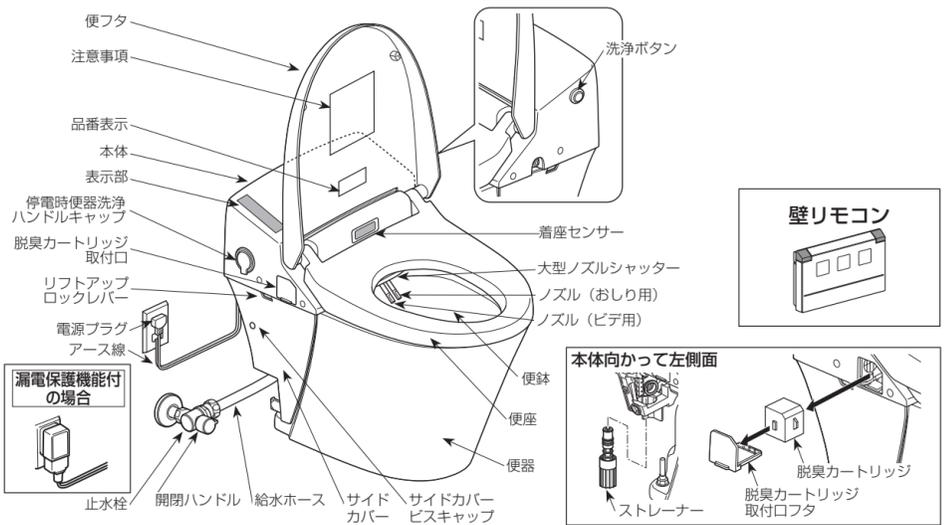
警告

- ❗ 指示実行 施工説明書に従い、正しく施工する。
 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 🚫 分解禁止 分解や改造は絶対に行わない。
 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- 🚫 ぬれ手禁止 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
 ※ 感電のおそれがあります。
- ❗ 指示実行 電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
 ※ コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災のおそれがあります。
- 🚫 水かけ禁止 本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
 ※ 感電・火災の原因になります。
- 🚫 禁止 ● AC100V 以外では使用しない。
 ● タコ足配線はしない。
 ※ 感電・火災の原因になります。
- ❗ 指示実行 電源プラグは根元まで十分差し込む。
 ※ 感電・火災のおそれがあります。
- 🚫 禁止 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
 ※ 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 🚫 禁止 ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
 ※ 感電・火災の原因になります。
- 🔌 アース接続 アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
 ※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
 ※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- 🚫 水場使用禁止 バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
 ※ 感電・火災の原因になります。
- 🚫 禁止 水道水および飲用可能な井戸水以外に接続しない。
 ※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- ❗ 指示実行 漏電遮断器を確実に取り付ける。
 ※ 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 ※ 漏電遮断器がない場合は、電気工事店にご相談ください。

注意

- ❗ 指示実行 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
 ※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- ❗ 指示実行 ● ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉め、便器洗浄操作を行う。
 ● ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
 ● ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
 ※ O リングにゴミが付着していると、漏水し、室内浸水の原因になります。
- ❗ 指示実行 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- ❗ 指示実行 お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
 ※ 凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
 ※ 凍結破損により火災の原因になります。
- ❗ 指示実行 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
 ※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

各部のなまえ



同梱部品の確認

□内の数字は施工手順の番号を示しています。

2 サイドカバー固定キャップ

3 機能部 (本体、便座、便フタ)

ワン座

止水栓

パッキン

固定セット

サイドカバー (左) (右)

4 5 リトイレの場合

袋ナット接続用給水ホース (350mm)

袋ナット接続用給水ホース (880mm)

— TU の場合

クイックファスナー接続用給水ホース (1000mm)

10 ツール

7 ホルダー

リモコン本体

木ねじ

プラスチックアンカー

電池 (単三形 2本)

盗難防止ねじセット (品番: A-6132)

盗難防止ねじ

ナット (M2 2種)

ワッシャー (2 x 6 x 0.4)

説明書セット (便フタ裏に貼ってあります)

※ 脱臭カートリッジは、機能部に組み込まれています。

1 便器の取付け

便器に同梱されている専用の施工説明書にしたがって、便器を取り付ける。

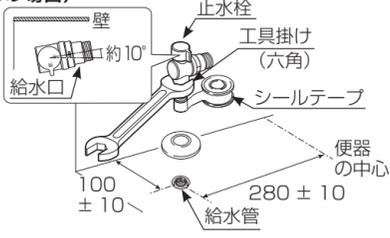
2 止水栓の取付け

【注意 2-1 参照】

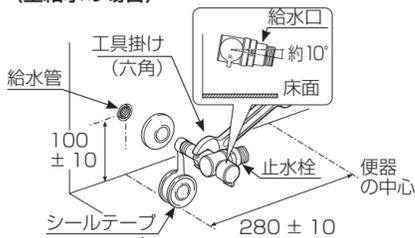
1. 給水管に止水栓を取り付ける。

- 壁・床仕上げ完了後に行ってください。
- ねじ部にシールテープなどのシール材を取り付けてください。
- ※ バルブ本体の工具掛け部（六角）に工具を掛け、しっかりと締め付けてください。【注意 2-2 参照】
- 床給水の場合・・・給水口は壁面に対して約 10° 壁面側に傾けて取り付けます。
- 壁給水の場合・・・給水口は床面に対して水平より約 10° 下向きに傾けて取り付けます。
- ※ 止水栓は閉じたまま施工してください。
- ※ 止水栓を取り付ける給水管の位置が、フロアライン（FL）、またはウォールライン（WL）より -5mm 以上沈んだ場合、給水ホースが取り付けられない可能性があります。

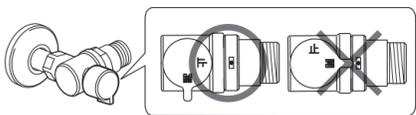
〈床給水の場合〉



〈壁給水の場合〉

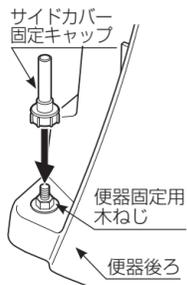


2. 開閉ハンドルが閉じていることを確認する。



3. サイドカバー固定キャップを取り付ける。

便器後ろの便器固定用木ねじに、サイドカバー固定キャップ(2個)を取り付けます。

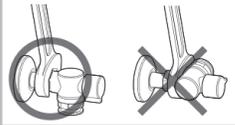


【注意 2-1】

- 止水栓に手をかけたり、踏んだりしない。
- ※ 配管がグラついたり、止水栓が破損して漏水の原因になります。
- ※ 壁や床を傷めるおそれがあります。
- 止水栓の給水口は、給水ホースが折れないように取り付ける。

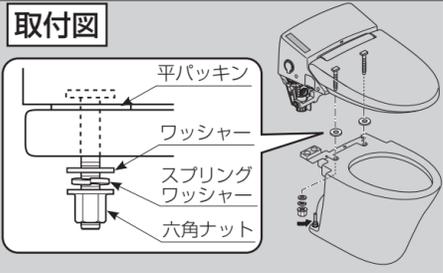
【注意 2-2】

- 工具は必ず工具掛け部（六角）に掛ける。
- ※ 止水栓が破損して漏水の原因になります。

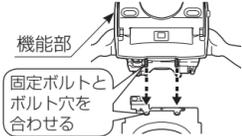


3 機能部の取付け

取付図

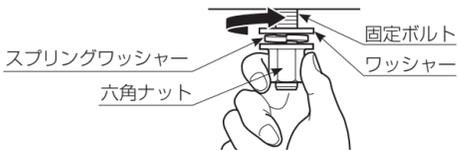


3. 機能部を便器に設置する。【注意 3-2 参照】

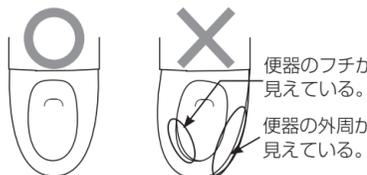


4. 機能部を固定する。

- ① 固定ボルトにワッシャーとスプリングワッシャーを通し、六角ナットを取り付けます。
- ② 手で仮締めします。

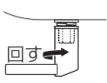


③ 便座の先端を便器の先端に合わせます。



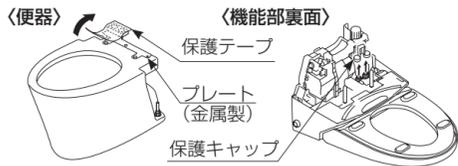
④ 同梱の工具で確実に取り付けます。

【注意 3-3 参照】
(締めトルク 2.0 ~ 2.5N・m
[20 ~ 25kgf・cm])



1. 保護キャップ、保護テープを外す。

【注意 3-1 参照】



2. 平パッキンを固定ボルトに取り付ける。

本体カバーにキズが付かないように取り付けてください。



【注意 3-1】

- プレート（金属製）は外さない。
- ※ 漏水の原因になります。

【注意 3-2】

- 本体がしっかり便器と密着していることを確認する。
- 便器および機能部の洗浄水口部にゴミなどの付着がないことを確認する。
- ※ 漏水の原因になります。

【注意 3-3】

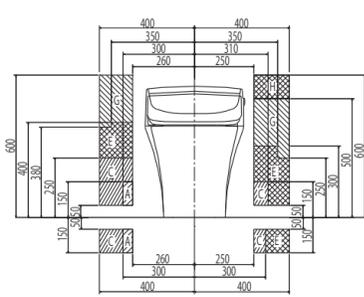
- 六角ナットは片利きにならないよう、左右交互に少しずつ締め付ける。
- ※ 漏水の原因になります。

【注意 2-3】

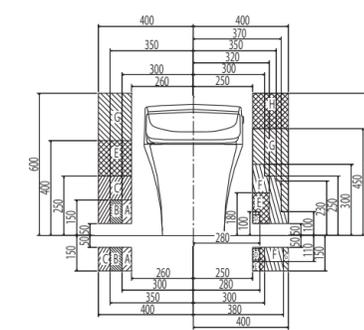
〈給水ホースの施工範囲〉

- 給水位置が「A ~ H」以外の場合は取り付けできません。
- 新築用には、長さ 350 mm の給水ホースが同梱されています。給水位置が図の「A」以外の場合は、長さ違いのオプション給水ホースをご購入ください。
- リフォーム用には、長さ 880 mm の給水ホースが同梱されています。給水位置が図の「G」以外の場合は、長さ違いのオプション給水ホースをご購入ください。
- リフォーム用で製品の背面に給水位置がある場合は、便器を 70 mm 前出して別途エルボを手配して施工してください。（この場合、排水芯は 270 mm 以上になります。）

● 床排水（新築、リフォーム）の場合

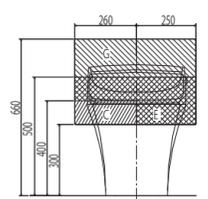


● 床上排水の場合



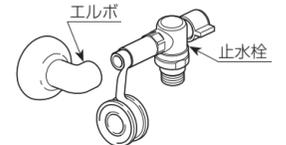
給水位置	オプション給水ホース
A	322-1138-35 を別途手配してください。 ※ 新築用には同梱されています。
B	322-1138-43 を別途手配してください。
C	322-1138-51 を別途手配してください。
D	322-1138-56 を別途手配してください。
E	322-1138-62 を別途手配してください。
F	322-1138-67 を別途手配してください。
G	322-1138-88 を別途手配してください。 ※ リフォーム用には同梱されています。
H	322-1138-98 を別途手配してください。

● 製品の背面に給水位置がある場合



上記の場合には別途エルボを給水口に取り付けてから止水栓を取り付けてください。

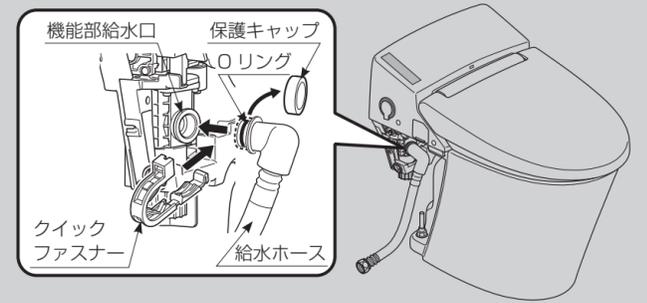
- 別途エルボの品番
- 1 インチ配管の場合：CF-131
- 1/2 インチ配管の場合：CF-132



4 給水ホースの取付け〈機能部側〉

取付図

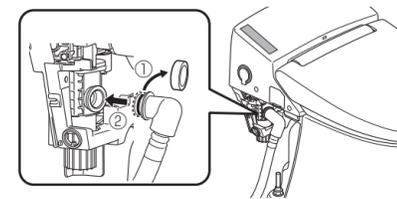
給水ホースに無理な力が加わらないように取り付ける。



1. 給水ホースを機能部側に取り付ける。

- ① 保護キャップを外します。
- ② 本体給水ホースを差し込みます。

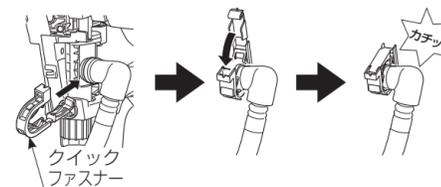
【注意 4-1 参照】



③ クイックファスナーを取り付け、給水ホースと機能部給水口を確実に固定します。

【注意 4-2 参照】 【注意 4-3 参照】
【参考 4-1 参照】

- クイックファスナーを折り曲げ、「カチッ」と音がすることを確認してください。
- 取付け後にクイックファスナーを回し、確実にはまっていることを確認してください。
- また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。
- クイックファスナーは図の向きでないと取り付けられません。【注意 4-4 参照】

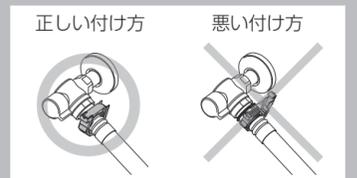


【注意 4-1】

- 給水ホース止水栓側の保護キャップは、止水栓と接続する直前に外す。
- ※ 施工中に給水ホース内へゴミが入り、止水不良となるおそれがあります。
- ※ Oリングにゴミが付着して、漏水・室内浸水の原因になります。

【注意 4-2】

- Oリングにキズを付けないように注意する。
- ※ Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。
- クイックファスナーは確実にはめ込む。



【注意 4-3】

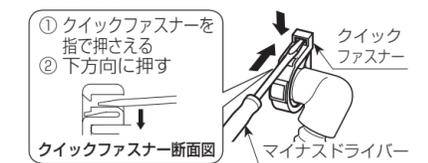
- クイックファスナーの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。
- ※ 漏水の原因になります。

【注意 4-4】

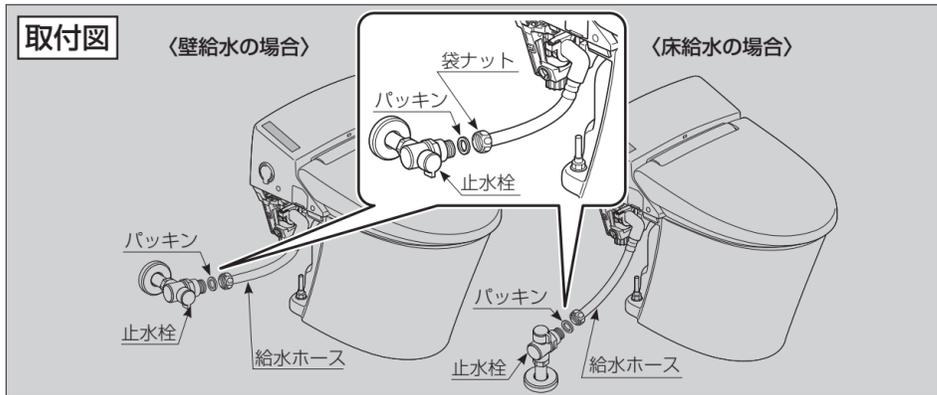
- クイックファスナーは本体の横から確実に差し込む。
- ※ 斜めから差し込むと、クイックファスナーを折り曲げて固定することができません。

【参考 4-1】

- クイックファスナーを外す際は、下方向に押すようにして外す。



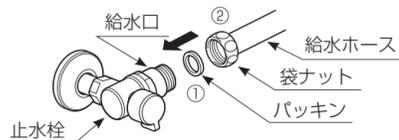
5 給水ホースの取付け〈止水栓側〉



1. 給水ホースを止水栓側に取り付ける。

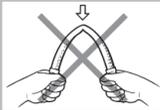
- ① 止水栓と給水ホースの間にパッキンを挟みます。
- ② 給水ホース側の袋ナットを初めに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めします。

【注意 5-1 参照】 【注意 5-2 参照】



【注意 5-1】

- 給水ホースは鋭角に曲げたり、引っ張られている状態にしない。一度折れたホースは使わない。
- ※ 破損して漏水するおそれがあります。
- ※ 洗浄不良の原因になります。



【注意 5-2】

- 床上排水で右給水の場合は、給水ホースを排水管の下を通して止水栓に接続する。



-9-

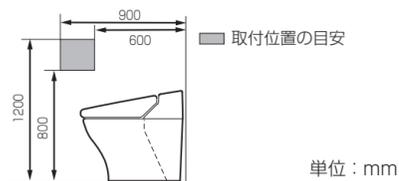
● リモコン取付位置

リモコンは操作できる範囲内に取り付けてください。

下図の「取付位置の目安」の範囲で、便座に座った状態で操作しやすい場所に取り付けてください。万一、シャワートイレが作動しない場合、リモコンの位置を変えるか反対側の壁で確認してください。

※ インター照明やトイレ環境によりシャワートイレが作動しないことがあります。

※ リモコン信号を受信しない場合、障害物を確認し、その障害物を移動させるか、または移動が不可能であれば、リモコンの取付位置を移動させます。



単位：mm

● 必ず便座に座って確認してください。

リモコンを取り付けようとする位置に仮置き、実際に便座に座って【止】を押します（施工完了後の試運転も必ず行ってください）。

その後、便器前に立ち【止】を押して、本体表示部の電源ランプが2回点滅（受信正常）であることを確認します。

- 【おしり】や【ビデ】を押すと水が噴出しますので注意してください。
- リモコン取付位置の上方にリモコンを脱着する際に必要なスペースが十分あることを確認してください。

【注意 7-3 参照】



併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために

【注意 7-1 参照】

シャワートイレを併設する場合は、他ブースのシャワートイレも反応し誤作動を起こすおそれがあります。このような場合は、お買い上げのリモコンを使い信号変更ができます。リモコンの発信信号とシャワートイレ本体の受信信号を共に変更してください。

1. リモコンの発信信号の変更

- ① リモコンの電池をいったん外します。
- ② 下図の信号表に応じたボタンを押し続けながら電池を取り付け、そのまま6秒保持します。（【止】、【おしり】、【ビデ】の場合は20秒保持）

信号番号	操作ボタン	電池表示点滅回数	信号番号	操作ボタン	電池表示点滅回数
信号 1	温水温度	1回	信号 4	洗浄強さ [-]	5回
信号 2	便座温度	2回	信号 5	洗浄強さ [+]	6回
信号 3	節電入/切	3回	信号 6	おしり	7回
信号 0	止	4回	信号 7	ビデ	8回

※ お買い上げ時、「信号 0」となっています

- ③ 発信信号が変更された時、リモコンの電池表示が点滅します。（変更された信号により、点滅回数は異なります。）

2. 本体の受信信号の変更

- ① 変更する機器の電源プラグをいったん抜きます。
- ② 再度、電源プラグを差し込んでから、10秒以内に【止】を10回以上連続で押します。

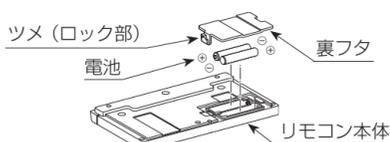
【注意 7-1】

- 上記作業は、屋内（設備）のブレーカーで電源の入/切を行わない。
- ※ 同時に複数機の電源を入れると、他機の受信信号も変更されるおそれがあります。
- ※ 機種によっては、設定できない信号があります。

施工方法

1. 電池の装着・リモコン取付位置の確認

1. リモコンの裏フタを開け、付属の電池（単三形2本）を入れる。【注意 7-2 参照】
※ 裏フタが開けにくい場合、マイナスドライバーなどの工具でツメ（ロック部）を押えて外してください。
2. リモコンの取付位置を確認します。（☞ 10 ページ）

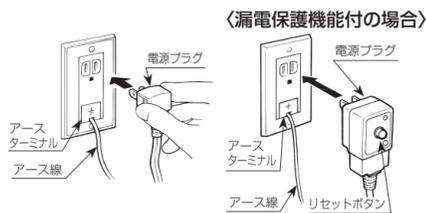


-11-

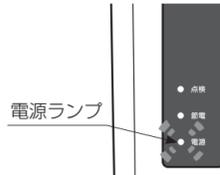
6 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。
【注意 6-1 参照】 【注意 6-2 参照】

- ① アース線を接続します。
- ② 電源プラグを差し込みます。



2. 電源が入っていることを確認する。
本体の電源ランプが点灯していることを確認してください。



⚠ 警告

- 確実にアース線をアースターミナルに接続する。
- ※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
- ※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 6-1】

- 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。

【注意 6-2】

- 必ず施工が終了してから電源を入れる。

7 リモコンの位置決め・取付け

※ 機種によっては、リモコンが異なる場合があります。リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

必ず確認してください！

- リモコン信号を確実に受信するために
リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁（向かって左側）に取り付けてください。

必要上、反対側（右側）の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から1300mm以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。スクリーンの寸法は高さ(H)1100mm以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで(W)を確保してください。（ただし、壁の仕上げ・色などの条件により多少異なりますのでご注意ください。）

左側の壁にリモコンを取り付ける場合



右側の壁にリモコンを取り付ける場合



※ 向かって右側に取り付ける場合、できる限り「使いやすい位置の目安」の範囲に取り付けてください。

-10-

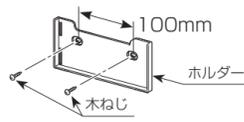
2. リモコンの取付け

1. ホルダーをリモコン本体から外す。
2. ホルダーを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付ける。
【注意 7-3 参照】
【注意 7-4 参照】



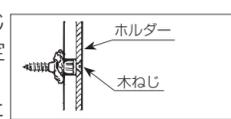
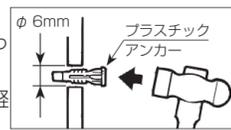
【厚みが5mm以上の合板壁の場合】

ホルダーを付属の木ねじでしっかりと固定します。



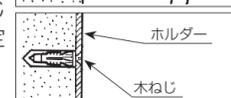
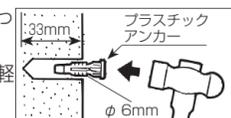
【厚みが5mm以下の合板壁および石膏ボード壁の場合】

- ① 直径6mmの下穴をあけます。（石膏ボードは5mm）
- ② ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。

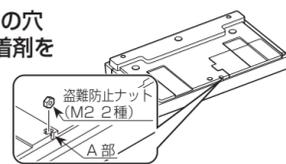


【コンクリートの場合】

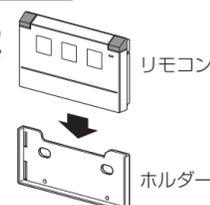
- ① 直径6mm、深さ約33mmの下穴をあけます。
- ② ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。



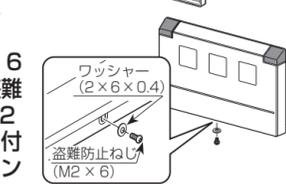
3. リモコン裏側の穴（A部）に接着剤を注入した後、ナット【M2 2種】を入れて固定する。



4. リモコンをホルダーの上に合わせ、押し下げて取り付ける。



5. ホルダー下部の穴に、ワッシャー【2×6×0.4】と盗難防止ねじ【M2×6】を取り付けて、リモコンを固定する。

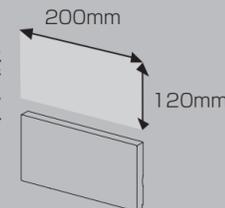


【注意 7-2】

- 電池のプラスとマイナスの向きを間違いないように入れる。
- 電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
- 同梱の電池を使用する。
- 発信信号を変更するとき以外は、リモコンのスイッチを押し続けながら電池を取り付けない。

【注意 7-3】

- リモコン取付位置の上方に、リモコンを脱着する際に必要なスペース（右図参照）が十分あることを確認する。



【注意 7-4】

- 電動工具は使用しない。
- ※ 部品が破損するおそれがあります。

8 給水管の空気を抜く

【注意 8-1 参照】

- トイレ手洗いやトイレ近くの洗面台の水洗などから水を出し、確実に給水管内の空気を抜いてください。



【注意 8-1】

- 給水管内に空気が残っていると、洗浄した際に水が便器から飛び出すおそれがあります。

-12-

9 試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

●水漏れ箇所はありませんか？

【注意 9-1 参照】

1. 止水栓を全開にします。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

チェック欄	確認内容
漏水確認	漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返して水を流さないで、確認が困難な場合があります。)
<input type="checkbox"/>	① 止水栓部および給水ホースとの接続部
<input type="checkbox"/>	② 本体と給水ホースとの接続部
<input type="checkbox"/>	③ 本体と便器の接続部
<input type="checkbox"/>	④ 便器と床との接続部

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 9-2 参照】【注意 9-3 参照】

1. 着座センサーを白っぽい紙や布で覆います。

確認機能	チェック欄	確認内容
おしりノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、約 10 分かかります。 ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？
ビデノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、約 10 分かかります。 ① 【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと、温水が止まりますか？

※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

2. 着座センサーを覆っている紙を外します。

●便器洗浄は正常ですか？

確認機能	チェック欄	確認内容
洗浄確認	<input type="checkbox"/>	便鉢内に長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れ、1 回の洗浄で流れますか？ ※ もし 1 回の洗浄で流れない場合は、下記の項目を確認してください。 ・ ストレーナーにゴミや詰まりはないか？ ・ 止水栓を全開にしたか？ ・ 給水ホースは折れていないか？ ・ 水圧は適正か？

【注意 9-1】

● 給排水接続部の水漏れ点検は、確認が困難な場合があるため、数回繰り返して水を流して確認する。

【注意 9-2】

● インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。

【注意 9-3】

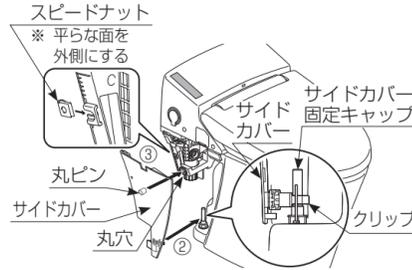
● 着座センサーがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。

10 サイドカバーの取付け

1. 左右のサイドカバーを取り付ける。

【注意 10-1 参照】【参考 10-1 参照】【参考 10-2 参照】

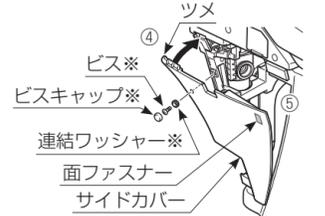
- ① スピードナットを本体に取り付けます。
- ② サイドカバー下側の「クリップ」を便器側の「サイドカバー固定キャップ」にはめ込みます。
- ③ 固定した「クリップ」を基点に、サイドカバー中央の「丸ピン」を、本体の「丸穴」に合わせるように差し込みます。



- ④ サイドカバー上部付近を押して、サイドカバー上部の「ツメ」を本体機能部のカバー内に押し込みます。

【注意 10-2 参照】

- ⑤ 「カチッ」と音がするまでサイドカバー上部手前を再度押して、「面ファスナー」をしっかりと固定します。



- ⑥ サイドカバーが便器のラインと揃い、しっかりと組み付いていることを確認します。

- ⑦ サイドカバーのビスをドライバーで取り付け、ビスキャップをかぶせます。

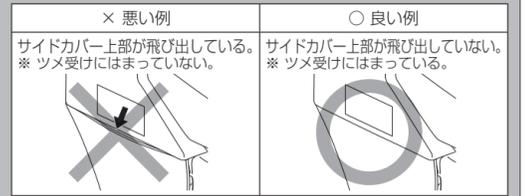
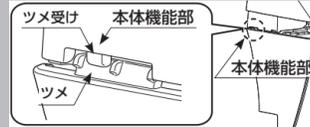
※ ビスの仕様は、機種により異なります。

【注意 10-1】

● サイドカバーを組み付ける際には、無理にはめ込まない。
※ 破損するおそれがあります。

【注意 10-2】

● (リフトアップ付の場合)
サイドカバーを組付け後、本体を浮かせた状態で本体機能部の「ツメ受け」奥にサイドカバーの「ツメ」が確実に収まっていることを確認してください。



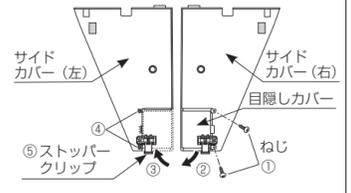
△ サイドカバーが外れる原因となります。

【参考 10-1】

● 止水栓が便器に向かって右側にある場合

サイドカバー(右)についている目隠しカバーをサイドカバー(左)に取り付ける。

- ① サイドカバー(右)裏面のねじ(2本)を外します。
- ② サイドカバー(右)の目隠しカバーを外します。
※ 矢印の方向に取り外します。
- ③ サイドカバー(左)に目隠しカバーを取り付けます。
※ 矢印の方向に取り付けます。
- ④ サイドカバー(左)裏面にねじ(2本)を取り付け、目隠しカバーを固定します。
- ⑤ ストップークリップを下から差し込み直します。



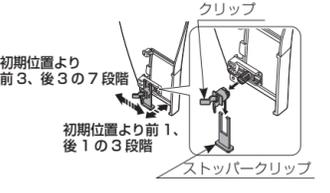
【参考 10-2】

● サイドカバーは便器のラインに

合うように取り付ける。

● 「サイドカバーが便器のラインに合っていない」「隙間が大きい」場合はサイドカバーのクリップの位置を調整する。

※ サイドカバーのクリップは、前後方向に 7 段階、左右方向に 3 段階、調整できます。
※ 左右方向に調整する場合は、クリップからストップークリップを下方向に外し、クリップの位置を移動させ、ストップークリップをはめ込んで固定します。



施工業者さまへ

お客様に必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客様に必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

以下の場合でも、下記手順で大洗浄 8L(小洗浄 6L)仕様としてお使いいただけます。

- ※ 機種によっては、リモコンが異なる場合があります。リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。
- ※ 洗浄水量を戻す場合は、LIXIL のサービスマンによる有償作業が必要です。

●自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【温水】と【便座】を同じタイミングで 6 秒以上押す。

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。(便座に座った状態では操作を受け付けません。)

- (1) 【温水】 + 【流す小】 または、【便座温度】 + 【流す】 を同じタイミングで 2 秒以上押す。

機能部品番に「F」または「M」が付く場合 (例: DV-K213F、DV-K213M)	機能部品番に「F」または「M」が付かない場合 (例: DV-K213G、DV-K213L)

- (2) 【止】を押す。

- (3) 便器鉢内に長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れ、これが 1 回の洗浄で排出できることを確認する。

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

- (1) 止水栓を閉めて、給水を止める。

【注意 11-1 参照】

- (2) 本体の洗浄ボタンを押す。
※ 20 秒程度時間をあけてください。
※ 内部にたまっている水と圧力を抜きます。

- (3) 電源プラグをコンセントから抜く。

- (4) サイドカバーを取り外す。

- (5) 布などを下に置いてから、本体に向かって左側面のストレーナーを外す。(①: 時計回りに回し、②: 下に引き抜く)
※ ストレーナーを外すと少量の水がこぼれます。

- (6) ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取除く。

- (7) ストレーナーをしっかりと締め付ける。

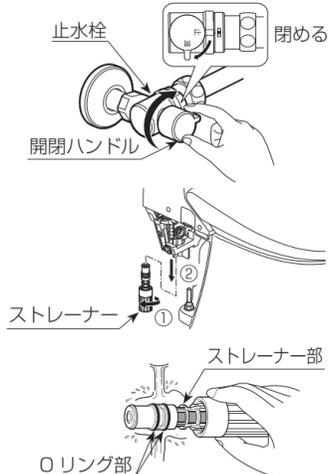
【注意 11-2 参照】

- (8) サイドカバーを取り付ける。

- (9) 電源プラグをコンセントに差し込む。

- (10) 止水栓を全開にする。

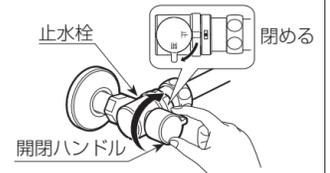
※ ストレーナーを洗っても水の出方が悪い場合は、給水圧を点検します。



お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

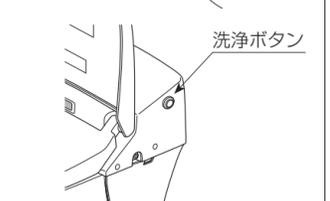
- (1) 「止水栓」を閉めて、給水を止める。【注意 11-1 参照】

※ 開閉ハンドルが回しにくい場合は、乾いた布などでつかんで回してください。



- (2) 流す【大】または本体の洗浄ボタンを押す。

※ 20 秒程度時間をあけてください。
※ 便器洗浄の水が流れないことを確認してください。



- (3) 電源プラグをコンセントから抜く。

- (4) 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。

※ あらかじめ水受け(約 1L 以上入るもの)を用意します。
※ マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。
※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



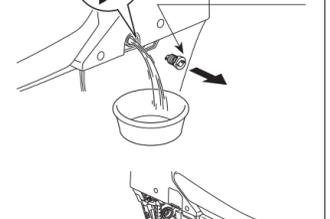
- (5) 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。

※ マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。



- (6) 給水ホースから水を抜く。

- ① 本体に向かって左側面のサイドカバーを外す。
- ② 「ストレーナー」の下に洗面器などを置く。
- ③ ストレーナーを外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取除く。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込む。
- ⑤ 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く。
※ 着座センサーを手で覆って操作を行ってください。
- ⑥ 約 5 秒後【止】を押す。
- ⑦ 電源プラグをコンセントから抜く。
- ⑧ 水抜き完了後、ストレーナーをしっかりと締め付ける。

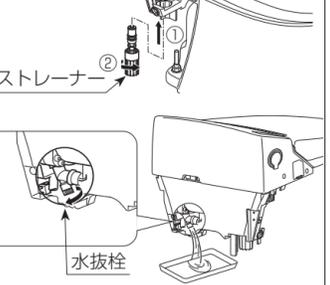


- (7) <低流動圧対応プースター付の場合>

・ 低流動圧対応プースターの「水抜栓」を緩め、水抜きをする。
・ 水が抜けたら、「水抜栓」をしっかりと締める。

- (8) サイドカバーを取り付ける。

- (9) 止水栓部から水漏れしていないか確認する。



【注意 11-1】

● 止水栓を開けたままストレーナーを外さない。
※ ストレーナー部から漏水します。

【注意 11-2】

● ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかりと締める。
※ 確実に締めないとストレーナー部から漏水します。